

令和元年度 松浪地区まちぢから協議会 第6回 運営委員会 次第

日時 令和元年10月16日(水) 9:30～

場所 松浪コミュニティセンター ホール1・2

1 開会(植松会長)

2 議事

(1) 松浪コミセン開館5周年記念式典及びコミセンまつりについて(報告)

(2) 松浪地区市民体育祭について(報告)

(3) 松浪地区防災訓練について…11月10日(日)

(4) その他

3 防災対策部会からの進捗報告

4 自治会長部会からの進捗報告

5 市民安全部会からの進捗報告

6 自治会館の管理運営について

7 松浪コミュニティセンター・子ども家「なみっこ」の管理運営について

8 松浪コミカフェ管理運営について

9 松浪まちぢから協議会HPの現状報告

10 会計からの報告

100分

11 各団体からの報告・共有

(1) 松浪地区社会福祉協議会

(2) 松浪地区民生委員児童委員協議会

(3) 松浪地区老人クラブ連合会

- (4) 松浪地区地域包括支援センターさざなみ
- (5) 松浪地区体育振興会
- (6) 松浪地区スポーツ少年団
- (7) 汐見台小学校区青少年育成推進協議会
- (8) 緑が浜小学校区青少年育成推進協議会
- (9) 松浪小学校区青少年育成推進協議会
- (10) 汐見台小学校PTA
- (11) 緑が浜小学校PGT
- (12) 松浪小学校PTA
- (13) 松浪中学校PTA
- ~~(14) 松浪学区子ども会連合会~~
- (15) 食生活改善推進団体
- ~~(16) 環境指導員~~
- (17) 浜竹一丁目自治会
- (18) 浜竹二丁目自治会
- (19) 浜竹三丁目自治会
- (20) 浜竹四丁目自治会
- (21) 松浪一丁目自治会
- (22) 松浪二丁目自治会
- (23) 富士見町自治会

(24) LG 富士見町自治会

(25) 常盤町自治会

(26) 緑が浜自治会

(27) 汐見台自治会

(28) 出口町自治会

(29) ひばりが丘自治会

(30) 美住町自治会

(31) 公募委員

20分

- 1 2 まちぢから協議会連絡会
行政からの依頼事項等について
別紙のとおり
- 1 3 スケジュールについて
別紙のとおり (総会資料事業計画等資料を参照)
- 1 4 閉会

次回運営委員会：令和元年11月20日(水)

松浪コミュニティセンター 開館五周年記念式典

令和元年10月6日(日)



松浪コミュニティセンター 開館五周年記念式典 次第

- 一、開会の言葉
松浪地区まらちから協議会副会長 末松 一登
- 二、記念演奏
ヴァイオリン演奏 萩原 正洋 様
ピアノ伴奏 近藤 伸子 様
- 三、主催者代表挨拶
松浪地区まらちから協議会会長 植松 伸廣
- 四、来賓祝辞
一、茅ヶ崎市市長 佐藤 光 様
二、茅ヶ崎市教育長 竹内 清 様
三、茅ヶ崎市議会議長 水島 誠司 様
四、神奈川県議会議員 永田 てるじ 様
五、茅ヶ崎市地域集会所施設連絡会 会長 亀山 計次 様
- 五、来賓紹介
- 六、松浪コミュニティセンター五年のあゆみ
- 七、閉会の言葉
松浪地区まらちから協議会副会長 前田 積

松浪コミュニティセンター設立経緯

平成14年6月

「松浪地区コミュニティセンター等複合施設建設に関わる要望書」を市に提出

平成19年12月

松浪地区街づくり委員会(60名)内に「松浪地区コミュニティセンター設置研究委員会」(18名)を発足

平成24年3月

「地域集会所施設早期建設を求める要望書」を市に提出

平成25年3月

「松浪地区地域集会所施設建設検討委員会」(32名)を発足
・常盤町の県営住宅茅ヶ崎テラス跡地を神奈川県より市が購入→建設用地確定

「松浪地区コミュニティセンター設置研究委員会」の一年目の役員のお二人には、コミセンの礎を作っていただきました



窪添さん

溝口さん

松浪コミュニティセンター設立経緯

平成25年度 設計

平成26年7月 建築工事開始

平成27年4月 開館



松浪コミュニティセンター設立経緯

平成27年3月21日

松浪コミュニティセンター「竣工式」



松浪コミュニティセンター設立経緯

平成27年4月1日

松浪コミュニティセンター「オープン」



松浪コミュニティセンター設立経緯

市内初の「**まちぢから協議会**」が指定管理者

- ・松浪コミュニティセンター
 - ・子どもの家 なみっこ
 - ・松浪コミカフェ
 - ・図書コーナー
- 管理運営**

- 【コミセン複合施設】**
- ・まつなみボランティアセンター
 - ・松浪地区地域包括センターさざなみ
 - ・福祉相談室さざなみ

開館当初、ご尽力いただいた「松浪地区コミュニティセンター管理運営委員会」のお二人



館長(初代):牧島達夫
(緑が浜自治会会長)



コミカフェ管理運営委員会:中東恵子
(汐見台青少年育成推進協議会会長)
平成31年3月18日逝去



9名のコミセンスタッフでスタート



定期的な防災訓練・消防訓練により安全管理に努めています！

子どもの家・なみっこの様子



「カンガルー演奏会」や「お話し会」を開催



松浪コミカフェの様子



松浪コミカフェの運営

営業時間 10:00~16:00 (月曜定休日)

【カフェメニュー】

- ・コーヒー(ホット)…200円
- ・紅茶(ホット)…200円
- ・エスプレッソ…200円
- ・カフェオーレ(ホット)…300円
- ・ジュース…200円
- ・手作りケーキ…250円

(飲み物とセットにするとケーキは200円)




松浪コミカフェの運営

ランチタイム 11:30~13:30

【ランチメニュー】

- ・日替わりランチ(火曜・木曜)…600円
- ・カレーランチ(毎日)
- ビーフカレー(中辛)…500円
- キーマカレー(甘口)…500円




※開館当初はドリンクだけでしたが、手作りケーキやランチなどメニューは増えていきました！

フリースペースの様子



松浪朝市の様子



毎月第1・第3日曜日の朝8～9時に松浪コミセン駐車場にて開催中！

松浪コミセンの主催イベント



開館記念のポップコーン無料配布や子どもに大人気のミニチュア列車

松浪コミセンの主催イベント

松浪コミセン将棋大会



松浪コミセン囲碁大会



19

松浪コミセンの主催イベント

浴衣着付けレッスン



男の料理教室「そば打ち体験」



松浪コミセンの年間利用者(平成30年度実績)

松浪コミセンの主催イベント

New Year コンサート



地区社協と共催の映画上映(ドラえもん)



初笑いコミセン寄席



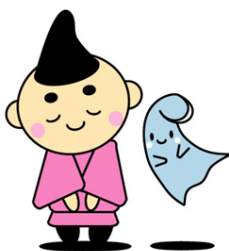
20

松浪コミセンの年間利用者(平成30年度実績)

- 登録団体数→502団体
- 会議室等の利用者数→36,491人
- フリースペース利用者数→30,185人
- 子どもの家なみっこ利用者数→13,302人
(小学生3,546人、幼児5,464人、大人4,292人)
- コミカフェの売上(コミカフェ来客数:13,106人)
・ドリンク:8,970杯 ・ランチ:5,320食

22

引き続き松浪コミュニティセンターを
よろしくお願ひします。



「行政からの依頼・説明事項」

No	課名	依頼事項	広報紙掲載	概要等	説明
1	企画経営課	茅ヶ崎ゴルフ場利活用事業の優先交渉権者の決定について	有(11/1号) 無	茅ヶ崎ゴルフ場の利活用について、土地所有者である神奈川県と茅ヶ崎協同株式会社が事業者を選定したことの説明と、市も加わった説明会を実施することの回覧依頼。	企画経営課長
2	防災対策課	茅ヶ崎市新型防災ラジオの導入について	有(11月号) (3月号) 無	防災ラジオの在庫状況と今後の対応についての説明。	防災対策課長
3	環境事業センター	令和2年度からの環境指導員制度について	有(1号) 無	令和2年度から環境指導員の委嘱が変更することについての説明と、各地区での説明会実施の依頼。	環境事業センター所長

令和元年9月25日
 記者発表資料
 (県政・平塚・藤沢記者クラブ同時発表)

茅ヶ崎ゴルフ場利活用事業の優先交渉権者を選定しました

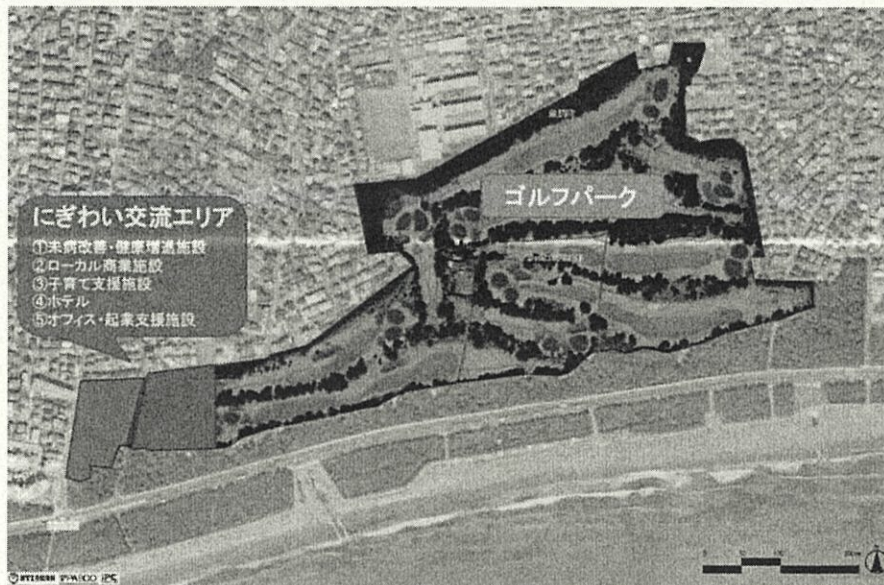
平成31年3月29日に事業者募集要項を公表し、茅ヶ崎ゴルフ場利活用事業を実施する事業者を募集したところ、3事業者から提案がありました。このたび、提案内容等について厳正な審査を行い、次のとおり優先交渉権者を選定しましたので、お知らせします。

1 優先交渉権者

代表法人	株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン (東京都品川区東五反田2-10-2)
構成員	亀井工業ホールディングス株式会社 (茅ヶ崎市南湖1-4-25) 特定非営利活動法人湘南ベルマーレスポーツクラブ (平塚市中堂18-8 E棟3F)

2 事業コンセプト

- ローカルファーストを基本に、未来へ向けた茅ヶ崎のランドマークの創造
- ゴルフパーク、ホテル、にぎわい交流・オフィスを複合的に展開し、湘南地域の恵まれた自然環境を背景とした新しいリゾートエリアを創造
- 地域に開かれた未病改善・健康増進の環境づくり
- 防災機能の強化とともに、地域コミュニティ醸成に資する開かれた防災拠点を形成



3 選定過程

別紙のとおり

URL:<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/gh8/cnt/f531941/>

4 今後のスケジュール(予定)

令和元年 10月 基本協定の締結(県、茅ヶ崎協同株式会社、茅ヶ崎市、優先交渉権者)

10月～ 住民説明会、事業計画の策定

令和2年 3月 土地売買契約及び土地賃貸借契約の締結

4月以降 まちづくり計画の策定

都市計画の決定・変更手続き、造成工事・建築工事に関する手続き
事業着工

問合せ先

神奈川県総務局財産経営部財産経営課

課長 岡本 電話 045-210-2501

調整グループ 谷川 電話 045-210-2506

茅ヶ崎ゴルフ場利活用事業に係る優先交渉権者の選定について

神奈川県
茅ヶ崎協同株式会社

1 茅ヶ崎ゴルフ場の概要

- ・所在地：茅ヶ崎市菱沼海岸6991-16外
- ・土地面積：198,786.13 m²

2 選定経過

- ・令和元年7月29日(月)～8月2日(金) 応募図書を受付
- ・令和元年8月7日(水) 第1次審査結果通知
- ・令和元年9月6日(金) 第2次審査(プレゼンテーション及びヒアリングの実施)

3 応募及び審査の状況

(1) 応募者数

3者

(2) 第1次審査の結果

第1次審査を行い、必要な応募図書が提出されなかった2者を失格とした。

(3) 第2次審査

第1次審査を通過した1者について、プレゼンテーション及びヒアリングを実施した。

学識経験者等から構成する事業者選定評価委員会各委員の意見を聴取した上で、事業提案書に記載された提案内容及び提案価格について審査し、当該1者を優先交渉権者として選定した。

4 事業者選定評価委員会の構成及び主な意見

(1) 委員名簿(◎委員長)

役職	氏名
横浜市立大学国際教養学部都市学系教授	◎鈴木 伸治
公益財団法人都市づくりパブリックデザインセンター 代表理事	木下 瑞夫
ランビアーシ建築設計代表取締役	ジェームス・ ランビアーシ
公認会計士川口雅也事務所代表(公認会計士)	川口 雅也
茅ヶ崎協同株式会社代表取締役	青木 三郎
茅ヶ崎市理事(兼)企画部長	添田 信三
神奈川県県土整備局都市部長	関矢 博己
神奈川県総務局財産経営部長	安井 由美子
(オブザーバー)	
東京大学生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター 教授	加藤 孝明

(2) 主な意見

- ア 周辺地域への貢献の考え方は整理されており、バランスの取れた提案である。
- イ ゴルフ場を存置することで開発面積が極力抑えられており、ゆとりある空間構成となっている。
- ウ 防災の観点から、現状よりマイナスとなる点はみられず、プラス面が散見される。
- エ 敷地内の施設は、災害時の周辺地域への貢献が期待できる機能を有している。
- オ 未病の改善が期待される。
- カ 地域雇用の創出が期待できる。
- キ 一部の建物やゴルフコースは利用者が限定され、公開性の低さを懸念する。
- ク ゴルフをしない層が身近に感じるか。
- ケ 用途地域の変更を伴う提案であり、周辺住民に対する丁寧な情報提供が必要となる。

5 選定結果及び選定理由

(1) 選定結果

県及び茅ヶ崎協同株式会社は、株式会社ゴルフダイジェスト・オンラインを代表法人とするグループを優先交渉権者として選定した。

評価区分	評価項目 (配点)	評価点
提案内容 A	(80 点)	54.125
事業提案の評価	全体計画 (40 点)	30.375
	施設計画 (8 点)	6.125
	周辺地域に与える影響 (4 点)	3.000
	小計	39.500
事業実施計画の評価	経営体制 (4 点)	2.125
	事業スケジュール・暫定利用等 (4 点)	2.000
	経営計画・事業収支計画 (16 点)	9.625
	小計	13.750
その他の評価	その他特徴的な事項 (4 点)	0.875
価格 B	(20 点)	20.000
総合評価 A+B	(100 点)	74.125

提案内容の評価点 A 54.125 点は、事業者募集要項に定める最低基準 40 点以上をクリアしている。

(2) 選定理由

- ア 事業者選定評価委員会から提示された意見を尊重したこと。意見の中には、ゴルフ場について、公開性の低さなど懸念を示す意見がある一方、防災面からゴルフ場を高く評価する意見があること。
- イ 健康増進、未病改善など県施策と関連する事業提案が盛り込まれており、県として今後の事業展開に高い期待を寄せたいこと。
- ウ 広域避難場所やみどりの機能がしっかりと確保され、茅ヶ崎市のまちづくりに資すると考えられること。

6 優先交渉権者

(1) 事業者名

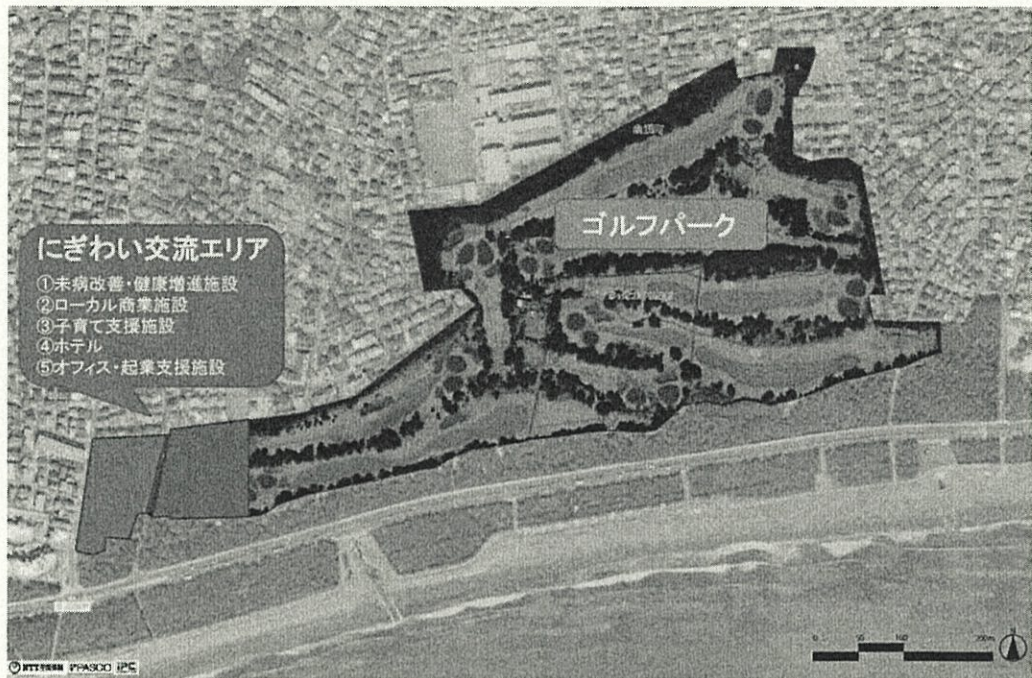
- 代表法人 株式会社ゴルフダイジェスト・オンライン
- 構 成 員 亀井工業ホールディングス株式会社
- 〃 特定非営利活動法人湘南ベルマーレスポーツクラブ

(2) 提案内容

ア 事業コンセプト

- ・ ローカルファーストを基本に、未来へ向けた茅ヶ崎のランドマークの創造
- ・ ゴルフパーク、ホテル、にぎわい交流・オフィスを複合的に展開し、湘南地域の恵まれた自然環境を背景とした新しいリゾートエリアを創造
- ・ 地域に開かれた未病改善・健康増進の環境づくり
- ・ 防災機能の強化とともに、地域コミュニティ醸成に資する開かれた防災拠点を形成

イ 事業イメージ



7 今後のスケジュール（予定）

令和元年 10月	基本協定の締結 (県、茅ヶ崎協同株式会社、茅ヶ崎市、優先交渉権者)
10月～	住民説明会、事業計画の策定
令和2年 3月	土地売買契約及び土地賃貸借契約の締結
4月以降	まちづくり計画の策定 都市計画の決定・変更手続き、造成工事・建築工事に関する手続き 事業着工

茅ヶ崎ゴルフ場利活用事業 に係る説明会を実施します

茅ヶ崎ゴルフ場利活用事業の事業者を
募集しておりましたが
このたび神奈川県・茅ヶ崎協同(株)により
優先交渉権者が選定されました

提案選定の考え方や事業コンセプト
これからの進め方について
みなさまにご説明させていただきます

- ① 11月16日(土) 14:00~15:30
浜須賀会館 2階 集会室
- ② 11月20日(水) 18:30~20:00
市役所本庁舎 4階 会議室

※両日程とも内容は同様です。申し込みは不要です。

主 催：神奈川県・茅ヶ崎協同(株)・茅ヶ崎市・事業者

お問い合わせ：茅ヶ崎市企画部企画経営課

0467-82-1111 (内線2536)

茅ヶ崎市新型防災ラジオの導入について

1 これまでの経過

茅ヶ崎市では、災害情報等を配信する防災行政用無線の聞こえない・聞き取りづらいといった難聴対策の一環として、到達距離が長く屋内でも確実に電波を受信できるポケットベルの周波数帯を使用した防災ラジオを開発し、平成25年12月から有償配布を行ってまいりました。

これまで、有償配布用として1万台を用意しておりましたが、今年度の途中に在庫が尽きてしまう見込みとなっていました。

2 今後の対応

令和元年第3回市議会定例会へ、新型防災ラジオ200台の整備費用を補正予算として計上し、議会の承認を得ました。今後、契約事務等を経て、令和2年3月末までに新型防災ラジオが完成し、同年4月から市民の皆様へ引き続き、有償配布をさせていただきます。

製造期間に半年程度要することから、その間については、防災対策課で予約受付を行い、納品次第、順次配布をさせていただきます。

3 新型防災ラジオの特徴

- (1) ポケットベルと同じ280MHzの周波数帯を使用しており、屋内でも確実に電波を受信することができます。
- (2) 平常時には通常のラジオとしてご使用いただけます。
- (3) 緊急地震速報や市からの防災情報などを受信した場合には、自動的に放送が流れます。また、通常のラジオ放送を聞いている状態では、緊急地震速報・市の防災情報を割り込みで放送します。
- (4) 防災情報等を聞き直すために、最後に受信した直前の放送内容を繰り返し聞くことができます。

4 現行の防災ラジオから新型のものへの変更点

- (1) 防災ラジオの形状及びデザインが一部変更となります。(詳細なデザインは契約後に決定)
- (2) 防災ラジオに登録している民放のAM/FM放送が、それぞれ1局ずつ少なくなり、AM/FM各4局に、それぞれに自由設定(フリー)の1局ずつを加えた、合計10局分(AM/FM各5局ずつ)をお聞きいただくことができます。

5 市民への販売価格(令和2年4月配布予定分から)

5,000円(予定)

※ 現行の防災ラジオの在庫分については、2,000円と通信料600円(税別)の負担額

新型防災ラジオについては、通信料を徴取しない等の理由から、本体価格が10,000円から19,800円に上昇しており、これまで通信料を負担していただいている市民の方との公平性の観点からも、5,000円の金額設定を想定しています。

参考に、現行の防災ラジオは2,000円で購入していただき、毎年600円(税別)の通信料を負担していただいています。販売開始当初に購入していただいた方については、2,000円+(600円×税×5年分)=5,240円を負担していただいています。

○茅ヶ崎市ごみ及び資源物の集積場所に係る維持管理手数料交付要綱（素案）

令和2年4月1日

（趣旨）

第1条 この要綱は、ごみ及び資源物の集積場所に係る維持・管理手数料の交付に関し必要な事項を定めるものとする。

（業務）

第2条 自治会は次に掲げるごみ及び資源物の集積場所の維持管理等に関する業務を行うものとする。

- (1) ごみ及び資源物の集積場所でのごみの分け方及び出し方の指導、助言等
- (2) ごみ及び資源物の集積場所の管理等に関する指導、助言等
- (3) その他ごみ及び資源物の集積場所の維持・管理等に関して必要な事項

（手数料）

第3条 市長は、自治会に対し、ごみ及び資源物集積場所に係る手数料(以下「手数料」という。)を支払うものとする。

（手数料の額）

第4条 手数料の額は次の各号に掲げる自治会の区分に応じ、それぞれ当該各号に掲げる額とする。

- (1) 自治会(次号に掲げるものを除く)を構成する600世帯までにあつては56,000円とし、600世帯を超える場合にあつては300世帯を超えるごとに28,000円を加えて得た額。
- (2) 別表に掲げる自治会を構成する600世帯までにあつては28,000円とし、600世帯を超える場合にあつてはさらに600世帯を超えるごとに28,000円を加えて得た額。

（手数料の請求）

第5条 手数料の請求をしようとする者(以下「請求者」という。)は次に掲げる書類を市長が別に定める期日までに市長へ提出しなければならない。

- (1) 請求書(第1号様式)
- (2) 業務完了報告書(第2号様式)
- (3) その他市長が必要と認める書類

（手数料の支払）

第6条 市長は、前条の規定による請求があつたときは、当該請求があつた日から1月以内に手数料を支払うものとする。

（届出事項）

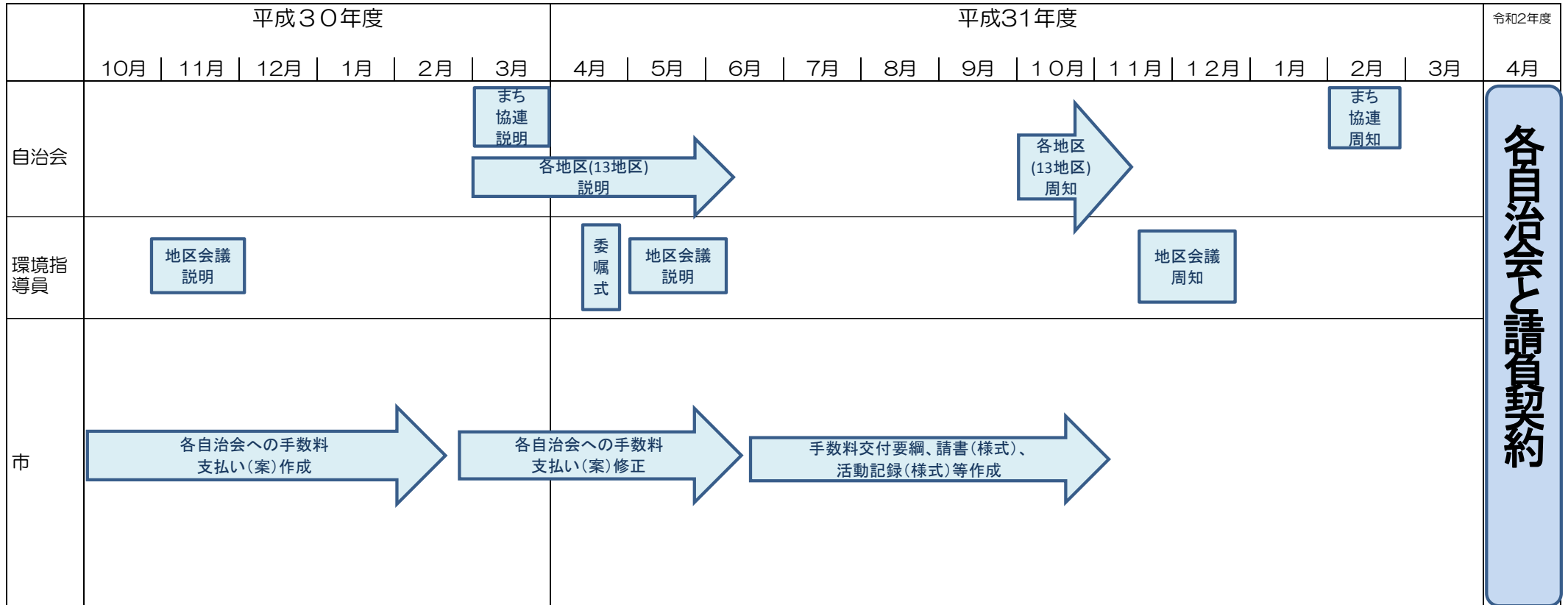
第7条 自治会長は、次の各号のいずれかに該当するときは、速やかに書面により市長に届け出なければならない。

- (1) 自治会の名称又は代表者に変更があつたとき。
- (2) 自治会が解散したとき。
- (3) その他市長が必要があると認めるとき。

（補則）

第8条 この要綱に定めるもののほか、手数料の交付に関し必要な事項は、市長が別に定める。

○環境指導員への報酬の支払いから、各自治会への手数料の支払い移行スケジュール



令和元年10月吉日

茅ヶ崎2020実行委員会
会長 石田 洋史

茅ヶ崎2020実行委員会への寄附のお願い

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けての機運醸成と、大会レガシーの次世代への継承により、茅ヶ崎市の更なる発展を目指すことを目的とし、令和元年5月20日に「茅ヶ崎2020実行委員会」を立ち上げました。

また、4月26日に茅ヶ崎市は北マケドニア共和国のホストタウンに登録されています。

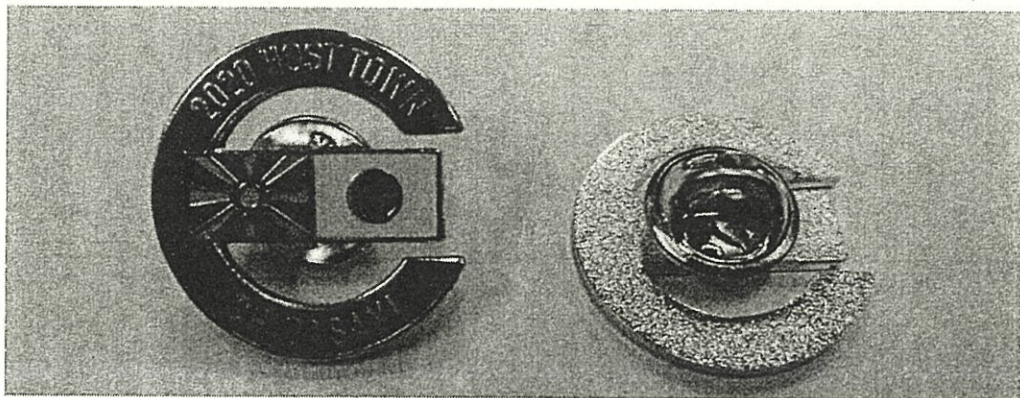
今後、大会開催に伴う関連事業や本市のホストタウン相手国となる北マケドニア共和国との文化交流事業等の実施を予定しておりますが、更なる事業の推進を図るにあたり、本実行委員会への寄附金を募集することといたしました。

つきましては、趣旨を御理解いただき、皆様方の御協力と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

御寄附いただいた方への返礼品

茅ヶ崎2020実行委員会では北マケドニア共和国とのホストタウン登録を記念してピンバッジを作成しました。

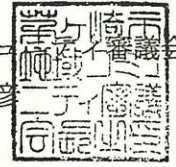
500円以上の御寄附をいただいた方に返礼品として、1つお渡ししております。



令和元年8月9日

茅ヶ崎市長 佐藤 光 様

茅ヶ崎市地域コミュニティ審議会
会長 名和田 是彦



認定コミュニティによる公益の増進のための活動に関する調査審議について（答申）

令和元年6月25日付け元茅市自第52号で諮問のあったことについて、次のとおり答申します。

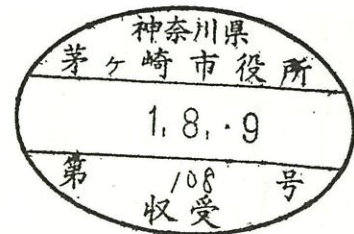
1 諮問の内容

認定コミュニティにおける次に掲げる事項

- (1) 認定基準への適合に関する事項
- (2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する事項

2 審議の結果

別紙のとおり



[別紙] 認定コミュニティによる公益の増進のための活動に関する審議の結果について

1 茅ヶ崎地区まちぢから協議会

(1) 認定基準への適合に関する事項

認定基準に適合していると考えます。

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する事項

(2019年)

市内で最も商店・住宅等が密集している地区の一つであり、地区内19自治会のうち10自治会がマンション自治会という特殊な地区だと思われま

す。活動としては、防災訓練に注力するとともに、地区一斉清掃活動に中学校の教員を巻き込むことによる地域と学校との連携、市議会議員との意見交換会を開催することによって、地域の声を市政に届ける事業を行うなど有効な取り組みを行っています。

今後の展開として、多様な人々が居住し、複雑・多様化する地域課題やニーズに対して、課題解決に向けた協議等のできる組織づくりがさらに進むことに期待します。

2 茅ヶ崎南地区まちぢから協議会

(1) 認定基準への適合に関する事項

認定基準に適合していると考えます。

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する事項

(2019年)

4つの部会を中心とした組織づくりによって、着実な取り組みが行われています。

活動としては、新春凧揚げ大会、夏休み子ども映画会を主軸にして、地域の重要な役割を果たしています。

今後の展開として、活動状況を報告できる広報活動等を充実させ、協議会活動の情報発信を効果的に行い、併せて新たな担い手の発掘を期待します。

3 海岸地区まちぢから協議会

(1) 認定基準への適合に関する事項

認定基準に適合していると考えます。

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する事項

(2019年)

別荘地としての歴史を背景に、市内にとどまらず多くの人から閑静な住宅地として人気を集めている地区だと認識しています。

活動としては、住宅密集地としての課題を解決するために防災・減災事業に注力され、市補助金を活用した感震ブレイカーの普及・啓発や地区内の住民に協議会活動を周知するための広報紙発行、広報掲示板設置事業等に取り組まれています。

す。

東日本大震災発災後、8年振りとなる盆踊りを主催事業として企画しており、地域住民の交流の場を創出し、関係強化を図り、新たな担い手の発掘に期待します。また、市民集会の実施方法の改善も検討されており、協議会内での活発な議論がなされていることと推察します。

感震ブレイカーの普及・啓発に関しては、単に周知するだけとならず、自治会や協議会組織の周知啓発を併せて行っていただき、兼ねて自治会加入の促進につながることに期待します。

4 南湖地区まちぢから協議会

(1) 認定基準への適合に関する事項

認定基準に適合していると考えます。

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する事項

(2019年)

古くから地域住民同士の連携が強く、既存の団体や集会が中心となった活動が行われている地域だと認識しています。

活動としては、決して多いわけではありませんが、地域の中で実施すべき事業を検討し、着実に取り組みを進めていると感じています。

今後の展開として、南湖地区納涼盆おどりは、世代間交流と地域の伝統文化の継承に重点を置いていることから、地元の小・中学生に役割を与えて運営の一部に携わってもらうなど、多世代の交流をさらに深められるような事業の展開に期待します。

5 湘南地区まちぢから協議会

(1) 認定基準への適合に関する事項

認定基準に適合していると考えます。

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する事項

(2019年)

圏央道のインターやスポーツ公園の開設、今後も道の駅の整備が予定され、地域の生活環境が大きく変わり、地元自治会や協議会組織の役割がますます重要となることが想定されます。

活動としては、安定した取組みを進めている状況のなか、広報活動事業を中心に他の地区広報部会との意見交換を進めるなどモデルとなる活動を進めています。

今後は、現在、検討が進められている地区内の公共交通空白地問題について、引き続き、協議会とNPO団体との協力体制を深め、課題が解決することに期待します。

6 鶴嶺東地区まちぢから協議会

(1) 認定基準への適合に関する事項

認定基準に適合していると考えます。

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する事項

(2019年)

広域な地区の中に3つの小学校、2つの中学校があり、多くの方が暮らしている地域です。

活動としては、都市政策課主導のもと防災・減災事業として防災のシンポジウムを開催、市補助金を活用した感震ブレイカーの普及促進に関して地域が一体となって進められています。また、広報活動の幅を広げるため、他地区の先進協議会に意見交換に出向くなど、活動が活発になっています。

今後の展開として、複数の小・中学校が所在する地域の特性上、子どもに関連する事業に関心が高まっているため、自治会等が実施している児童の安全パトロールや見守り活動への参画に期待します。また、他部会で検討を進めているテーマを共通化し、部会同士が連携することによって、課題解決につながる組織体制となるように、さらなる組織体制の整備に期待します。

7 鶴嶺西地区まちぢから協議会

(1) 認定基準への適合に関する事項

認定基準に適合していると考えます。

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する事項

(2019年)

できることから着実に地域活動を進めておられます。

活動としては、「新春のつどい」を協議会として主催し、各団体同士の連携の強化につながったと思います。また、子ども部会を設立し、子育て世帯の声を多く集約し、地域活性や地域の安全に取り組んでいただくことに期待します。

今後の展開として、これからの協議会の組織体制を組織内で話し合い、活動を充実させることができるように既存の委員と具体的な地域課題を整理し、部会等の設立に活かしていただくことに期待します。

8 松林地区まちぢから協議会

(1) 認定基準への適合に関する事項

認定基準に適合していると考えます。

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する事項

(2019年)

特定事業で実施している「ふくろう塾」、「おむすび松林」は、地域の中に定着し、地域住民にとって必要な取り組みとなっています。

事業が定着し安定した事業となっている弊害として、中学生の参加者減少や固

定化といったレベルの高い新たな課題を認識されているようです。

学習支援については、地元高校生や大学生など新たな人材を巻き込むことや学生に対して有償ボランティアの位置付けで事業を展開させられる等工夫に期待します。また、市内の市民活動団体のうち学習支援や子ども育成に関連する連携を深め、相乗効果が得られることに期待します。

夕食支援事業の食材費を削減する手法として、農協から野菜等のB級品の寄付提供の支援を受ける仕組みを創設されたことから、今後の活動に期待します。

9 小和田地区まちぢから協議会

(1) 認定基準への適合に関する事項

認定基準に適合していると考えます。

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する事項

(2019年)

辻堂駅周辺の再開発により、藤沢市に大型の商業施設が建設され車の交通量が増えたことや辻堂駅西口に大型マンションが建設されるなどの住環境の変化により、地元自治会や協議会組織の役割がますます重要となることが想定されます。

活動としては、隣接する松林地区や小出地区との交流を通じ、好奇心旺盛な活動を進めています。

今後の展開として、市民集会の特出した実施方法や質の高い活動が展開されていることから、地域住民の小さな声をさらに活かした活動の推進に期待します。

10 松浪地区まちぢから協議会

(1) 認定基準への適合に関する事項

認定基準に適合していると考えます。

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する事項

(2019年)

市内で唯一、協議会が地域集会施設の指定管理を受け、協議会活動とともに、施設の管理・運営を担っています。

協議会の活動をはじめ、松浪コミュニティセンター、子どもの家、コミカフェについて、情報の共有を行い、地域の中心的な役割を担っていると感じます。

活動としては、防災訓練を中心に活発な事業を行い、広報事業として定期的な広報紙の発行やホームページの情報を随時更新し、前広に情報発信されています。

今後の展開として、地域集会施設の指定管理者としてのメリットを活かした取組みに期待するとともに、地域住民にとって重要な存在となったコミカフェの活用について、さらなる事業の発展に期待します。

11 浜須賀地区まぢのちから協議会

(1) 認定基準への適合に関する事項

認定基準に適合していると考えます。

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する事項

(2019年)

市内においてモデル的な事業を実施し、一体感のある協議会組織の体制となり、先進的に様々な事業を実施している地区であると感じております。

地域乳幼児サポート事業は、引き続き地域にとって必要な事業となっており、若い世代のニーズに対応するなど、素晴らしい協議会活動であると評価します。また、日頃から利用している若い世代に対して、次の担い手となっていただくように声かけを行う努力をされています。

今後の展開として、防災事業に関して女性の視点を加えるなど、新たなアイデアや意見について話し合われていますので、新たな試みを含め、今後の活動に期待します。

1.2 小出地区まちぢから協議会

(1) 認定基準への適合に関する事項

認定基準に適合していると考えます。

(2) 認定コミュニティの活動及び特定事業に関する事項

(2019年)

分村合併した歴史のある地域であるにも関わらず、新たなアイデアを活かした斬新で特色のある活動を推進しています。

活動としては、多くの主催事業を実施し、地域住民を巻き込んだイベントを開催、賑わいの創出や顔の見える関係づくりにつながっています。

今後の展開として、これまでの特色のある活動を進めながら、次世代の育成や若い世代の巻き込んだ活動となり、地域に根付くよう期待します。

1.3 その他

制度全般に関する助言・市の支援のあり方に関する事項

(1) 広報に関する事業（広報紙発行・ホームページの開設）等に関して、広報の目的やあり方を見直す機会を作り、各地区まちぢから協議会への効果的な支援を期待します。

(2) 各地区まちぢから協議会の活動が、さらに活発になるよう様々な機会を通じ、助言が可能となる仕組みの充実の検討をお願いします。



茅ヶ崎市内の犯罪発生状況

令和元年9月末

(手集計～統計値とは異なります)

	振り込み詐欺		ひったくり		空き巣		暴行・傷害		オートバイ盗		自転車盗		車上ねらみ(車から荷物等を盗む犯罪)		犯(部)品(車やバイク)を盗む		置引き		器物損壊		累計
	9月	累計	9月	累計	9月	累計	9月	累計	9月	累計	9月	累計	9月	累計	9月	累計	9月	累計	9月	累計	
茅ヶ崎地区	1	2		1			1	17		4		95				1		7	4	9	136
茅ヶ崎南地区								6		4		53		1	2		3	1	4		72
南湖地区		1		1		2		1		1		10		1	1	1		2		3	23
海岸地区	2	4				2		2				10		2						7	27
鶴嶺東地区				3		1	2	6		4		11				3		3		4	35
鶴嶺西地区		3		1				2		6		11		1		3			1	6	33
湘南地区	1	3		3				5				14			1		5				31
松林地区		1		1	1	2	1	2	1	1		3	1	3		1				1	15
湘北地区	1	3						2		3		10		1		4		1		2	26
小和田地区						1		1				10			1	1				2	15
松浪地区		1						2		3		27		3	1	2				3	41
浜須賀地区		2						1				7		2		1			1	1	14
小出地区		1				2	2	5				1	1	2		2				3	16
合計	5	21	0	10	1	10	6	52	1	26	0	262	2	15	4	22	0	21	7	45	484

人身事故発生件数		死者数		負傷者数	
468(-63)		4(+2)		549(-81)	
	発生件数	高齢者	二輪車	自転車	
茅ヶ崎市	348	133	87	140	
	(-64)	(-15)	(-37)	(+2)	
寒川町	120	37	34	38	
	(+1)	(+1)	(±0)	(+6)	
合計	468	170	121	176	

形態別	累計	割合	県警合計(H30)
高齢者	30年 184	—	5,798(-483)
	R1年 170(-14)	36.3%	県平均と対比 33.9%
二輪車	30年 158	—	4,735(-487)
	R1年 121(-37)	25.9%	県平均と対比 27.7%
自転車	30年 168	—	4,031(-420)
	R1年 176(+8)	37.6%	県平均と対比 23.6%
子ども	30年 36	—	1,324(-199)
 (中学生以下の者)	R1年 41(+5)	8.8%	県平均と対比 7.7%

避難者の状況（災害対策地区防災拠点（避難所））

令和元年10月12日21時時点

指定避難所名	避難所 避難者 (人)
1 茅ヶ崎小学校	323
2 鶴嶺小学校	674
3 松林小学校	39
4 西浜小学校	263
5 小出小学校	214
6 松浪小学校	85
7 梅田小学校	161
8 香川小学校	390
9 浜須賀小学校	16
10 鶴が台小学校	202
11 柳島小学校	155
12 小和田小学校	75
13 円蔵小学校	131
14 今宿小学校	472
15 室田小学校	361
16 東海岸小学校	33
17 浜之郷小学校	184
18 緑が浜小学校	49
19 汐見台小学校	5
20 第一中学校	12
21 鶴嶺中学校	547
22 松林中学校	160
23 西浜中学校	380
24 松浪中学校	45
25 梅田中学校	167
26 鶴が台中学校	104

27	浜須賀中学校	40
28	北陽中学校	109
29	中島中学校	389
30	円蔵中学校	258
31	赤羽根中学校	32
32	萩園中学校	850
合 計		7,259 (ハマミーナ含む)
指定避難所名		避難所 避難者 (人)
33	ハマミーナ	334

避難者の状況（2次避難所）

指定避難所名		避難所 避難者 (人)
1	茅ヶ崎西浜高校	91
2	鶴嶺高校	9
3	茅ヶ崎北陵高校	
4	茅ヶ崎高校	
5	TOTO株式会社茅ヶ崎工場	
6	モリタ宮田工業株式会社	
7	学校法人平和学園	
8	株式会社アルバック	942
9	アルバックテクノ株式会社	57
10	真如園	
11	神奈川県衛生研究所	
合 計		1,099

台風第19号による被害状況等のまとめ（10月13日15時30分時点）

【被害状況】

- ・ 人的被害 3件（軽傷等3人）
- ・ 倒木 22件（うち枝折れ8件）
- ・ 道路冠水 2件
- ・ 通行止め 4件
- ・ 文化財の破損 1件（旧藤間家）
- ・ 建物倒壊 0件
- ・ 浸水害 0件
- ・ 河川氾濫 0件
- ・ 公共施設被害 0件

【避難所関係】

- ・ 避難所開設数 37施設（公立小中学校32校、協定締結先等5か所）
- ・ 避難所開設時間 12日（土）午前6時00分
- ・ 避難所閉鎖時間 13日（日）午前8時31分（全ての避難所が閉鎖した時間）
- ・ 避難者数 8,241人

コミセン5周年経費一覧速報

2019. 10. 16

予算		1,090,000
式典	来賓薔薇	11,102
	会場花	5,000
小計		16,102
手土産関連	記念タオル	91,000
	飲み物	8,596
	バームクーヘン	153,000
	赤飯	33,012
	紙袋	10,000
小計		295,608
告知費用	印刷、チラシ代	10,100
	資料	2,500
小計		12,600
イベント、ブース	食材	56,205
	コミカフェ材料費	75,332
	ポップコーンマシン	30,132
	綿菓子機	120,343
	記念将棋大会景品	20,304
	記念碁大会記念品	13,081
小計		315,397
スタッフ食事	弁当	31,298
	飲み物	19,307
小計		50,605
運営経費	ユニフォーム	274,093
	その他	41,994
小計		316,087
合計		1,006,399

参考

ポテトフライ	14890
タピオカジュース	48200
唐揚げ	21100
計	84190